

武富節

本調子

工、六	四	老	四	合、老	四	老	四	中、尺	工	合	尺	工
				でい	ち	や	よ	う		し		ち

六	工、尺	中	四	老	四	中、尺	工	老	上	四	老	合
	り		てい	あ		たい	い	ば	な	む	い	が

六	四	六	七、六	四	合、老	四	老	四	中、尺	工	合	尺	工
					は	な	や	ち		ゆ		か	

六	工、尺	中	四	老	四	中、尺	工	老	上	四	老	合
	み		てい	む		い	や	な		ら		ん

六	四	六	七、六	四	合、老	四	老	四	中、尺	工	合	尺	工
					へい	や	よ	ー		ぬ		ひ	

六	工、尺	中	四	工、六	四	老	四	合	尺
	や		る		が		ひ		

一、でいちやよ押連りてい

あたい花摘いが

花や露頂みてい 摘いやならん

(ヘイヤ ヨウヌ ヒヤルガヒー)

二、白瀬走川に 流りゆる桜

すてい思里に 貫ちやい佩きら

三、赤糸貫花や 里に打ち佩きてい

白糸貫花や ゆ得り童

四、赤糸貫花や 打ち佩きていさらみ

里が目笑れ口 拝み欲しやぬ

五、花ん貫ち 貯みてい

でいちやよ立ち戻ら

里や我が宿に 待ちゆらでむぬ